

**平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「ウェイト・ア・ビット公立小学校校舎整備計画」引渡し式**

6月15日、中野大使は、当館にて行われた平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウェイト・ア・ビット公立小学校校舎整備計画」の引渡し式に出席し、コンピュータ室、多目的コート、フェンスを同校のジョーンズ校長に寄贈しました。

ウェイト・ア・ビット小学校は、全国小学6年生達成度テストで年々向上を見せ、電気会社主催の理科学技術コンテストで全国3位になるなどの学業成績を修めていますが、農業従事者が多い農村地帯で、家にコンピュータがある家庭はほとんどありません。

当日の引渡し式へは、ロバート・ミラー教育・青年・情報省顧問やカスバート・ブライアン同校副理事長を始め、教育省関係者、同学校関係者、地域住民など約30名が出席しました。ミラー顧問をはじめとする来賓、関係者の方々は、日本政府をはじめ、日本国民、日本大使館に支援への謝意を表明し、寄贈コンピュータ室による学力向上の期待を述べました。またジョーンズ校長は、コンピュータ室と多目的コートは生徒達のためだけではなく、地域住民のためにも広く活用し、皆で大切に使うことを約束しました。中野大使は、国の発展に教育は必要不可欠であり日本政府は、今後も教育分野におけるジャマイカへの支援を続けていくと述べました。またこのプロジェクトへの支援を通じて、日本とジャマイカとの間の友好関係が一層発展することを期待すると述べました。



記念盾の前で生徒達とともに



コンピュータ室内を視察する本使